

詩篇 19篇 公同礼拝は神の御言葉をほめたたえる

今週は詩篇を取り上げて第3週目です。私たちの公同礼拝に関連するこれらの歌や詩から何を学ぶことができるか、教会として集まるときに私たちがどのように礼拝すべきかを探っていきます。私たちが礼拝で行うすべてのことは、神に栄光を帰すことを中心にすべきであることは、すでに見てきたとおりです。もちろん、私たちの神がどれほど偉大なお方であり、私たちの救いと人生の多くの祝福がどれほど神の恵みのおかげであるかを悟れば悟るほど、私たちは礼拝の一環として惜しみない献金や献げることによって神に感謝の心を表します。

今日は、私たちが本当に神に栄光を帰すことを願うなら、献げる礼拝の中で最も際立つ要素であるべきものについて見ていきたいと思えます。私が人に私たちの礼拝について一番語ってもらいたいことは、礼拝全体を通して神の御言葉が前面にあり、常に中心にあるということです。私たちの礼拝が本当に神を賛美するものであるならば、それは神の御言葉を称揚します。詩篇19篇に目を向けると、まさにそれを見ます。

この詩篇の最初の行は、これから読むことについて少し教えてくれています。このような序文は、実際に原語の一部であり、後から付け加えられたものではなく、聖句の一部なのです。この詩篇の頭書きには、**指揮者のために。ダビデの賛歌。**と書かれています。

つまり、この詩は聖歌隊指揮者が使うように指示されていたので、歌として歌われたであろうことがまずわかります。そして、ダビデ王自身がこの詩篇を書いたこともわかっています。これらの詳細は、この詩篇にまつわる歴史的詳細の正当性を示し、神の誤りのない御言葉としての聖書の歴史的な位置を信頼することにさえつながります。しかし、今日の私たちの学びにとってより重要なのは、この詩篇の焦点である、人間に対する神の啓示、より具体的には、私たちが聖書と呼んでいる神の御言葉の称揚です。この詩篇には、被造物である私たちに対する神の啓示を称揚する3つの部分があります。まず、神御自身の自然な啓示を見る詩篇19篇の最初の6節を読みましよう。

1 天は神の栄光を語り告げ 大空は御手のわざを告げ知らせる。 2 昼は昼へ話を伝え 夜は夜へ知識を示す。 3 話しもせず 語りもせず その声も聞こえない。 4 しかし その光芒は全地に そのことばは世界の果てまで届いた。神は天に 太陽のために幕屋を設けられた。 5 花婿のように 太陽は部屋から出て 勇士のように 走路を喜び走る。 6 天の果てから それは昇り 天の果てまで それは巡る。その熱から 隠れ得るものは何もない。

この詩篇は、すべて神が被造物に対してどのようにご自身を現されたのかについてです。神が地球全体にご自身を現す最初の方法は、宇宙そのものを通してです。誰もが自分の周りの世界や眼下の峡谷、あるいは頭上の空を見て、神が被造物の美しさと荘厳さの中に御自身を現しておられるのを見ることができます。人間がどんなに進化しても、富士山の美しさや、私たちが決して到達できない星の光が何百万と輝く夜空や、海の水の力強さと美しさのような荘厳なものを創造することはできないでしょう。

ダビデは美しい詩の中で、神が創造されたこの宇宙を描写し、この宇宙は言葉を使わず、語る言葉もありませんが、それでも世界中の誰もがその言葉を聞き取ることができるほど大きな声で語っているのだと告げました。そして、被造物が明らかにするのは、2節にある知識です。その知識とは、神御自身についての知識であり、神が存在すること、そして神が私たちや私たちを取り巻くこの宇宙のすべてのものを創造されたほど、私たちよりもはるかに偉大なお方に対して、私たちが責任を負っているということです。だからこそ聖霊は使徒パウロを通して、神が自然の中に御自身を現すことによって、私たちは皆、創造主に対して犯した罪について、神に対して責任を負うのだと教えているのです。

ローマ人への手紙 1章 19~20節 神について知りうることは、彼らの間で明らかです。神が彼らに明らかにされたのです。20 神の、目に見えない性質、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造されたときから被造物を通して知られ、はっきりと認められるので、彼らに弁解の余地はありません。

もしあなたが今日、イエス・キリストを主であり救い主として受け入れていないなら、被造物そのものが、あなたには責任を負うべき神がおられることを叫んでいるのです。あなたを神御自身の似姿に造られた神はおられますが、人間の罪のために被造物が苦しんでいるのと同じように、私たちの罪は私たちの中にある神の形を台無しにしまいました。しかし、破壊はしていません。

ローマ人への手紙 3章23節 **すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**

被造物は、私たちがどのように生きるかについて神に対して責任があり、したがって私たちの罪についても責任があることを教えています。しかし、神が御自身を現される別の、より具体的な方法だけが、唯一私たちをその罪から救う神の御計画を明らかにします。

つまり、神は特別啓示を通じて御自身を啓示されたのです。特別啓示には、2つの異なる方法が見られました。旧約聖書の預言者たちが神から直接メッセージを受け取るのが、最初のタイプの特別啓示です。しかし、それらのメッセージは書き留められ、文字としてまとめられ、書かれた神の言葉であるヘブライ語聖書として保存され、イエスが来られた後に福音書や書簡が加えられ、神はそれらの文章を通して新約聖書を加えられました。つまり、筆記された神の御言葉である聖書は、第二の特別啓示であり、今日私たちが入手できる唯一のものなのです。ダビデが今、被造物を描写するのに使ったのと同じような美しい言葉で称揚しているのは、その聖書、すなわち特別啓示なのです。

詩篇19篇 7-9節を読みましょう。 **7 主のおしえは完全で たましいを生き返らせ 主の証しは確かで 浅はかな者を賢くする。 8 主の戒めは真っ直ぐで 人の心を喜ばせ 主の仰せは清らかで 人の目を明るくする。 9 主からの恐れはきよく とこしえまでも変わらない。 主のさばきはまことであり ことごとく正しい。**

ダビデが神の御言葉に当てはめている表現が5つ、ないし6つあります。

主のおしえ、主の証し、主の戒め、主の仰せ、 また少し異なりますが、同じリストには**主からの恐れ** があります。そして、私たちが聖書として信じている神の御言葉を表現するために使っているすべての言葉に注目してください。それらは**完全で…確かで … 真っ直ぐで … 清らかで … きよく …まことであり …正しい。**

これは、人間に直接啓示された書き留められた神の御言葉について述べています。神御自身によって与えられたので、その神の啓示の結果として書き留められた言葉は、神の聖なる、正しい本質を反映しているはずですが、そして、この言葉はまさにそれを私たちに教えているのです。私たちの信仰声明である「バプテストの信仰とメッセージ」の中で、神の御言葉に関する最初の声明に次のように書かれているのはそのためです。 **「聖書は神の靈感を受けた人々によって書かれ、神から人への、神ご自身の啓示である。聖書は神の教えの全き宝である。聖書は神を著者、救いを目的とし、その内容は、何ら誤りのない真理である。したがって、聖書はすべて完全に真実であり信頼に値する。**

聖書に誤りはありません。もちろん、何千という原本の複製の間には、時間の経過によって多少の違いが生じましたが、それらの違いはほとんどすべて説明し、一致させることが可能です。そしてもちろん、原典のヘブライ語、アラム語、ギリシャ語が他の言語に翻訳されるにつれて、翻訳者のグループごとに、言葉や概念をどのように様々な言語に翻訳するかには違いが出てきます。しかし、その核心において、聖書は完全に信頼できる神の啓示された御言葉であり、間違いがなく、人生のあらゆる部分において完全に権威あるものなのです。

聖書を説明するために使われるこれらの言葉を最初に読むと、聖書は単なる規則のリストであり、こうしなさい、こうしてはいけないというものだというイメージを持たれるかもしれませんが。しかし、私たちはすでに、聖書は神の御言葉であり、神がどのようなお方であるかを直接的な方法で私たちに明らかにしているものであることを立証しています。ですから、この本には規則以上のものがあります。この本は魂をよみがえらせ、必要なときに知恵を与え、魂に喜びをもたらし、真理に目を開かせてくれます。これは単なる規則の羅列の描写ではまったくありません。これは、王の臣下が、敵の攻撃から国を守ることができる偉大で強力な支配者からの布告を

読むことからもたらされるものです。それは、父親から自分の子供たちに宛てた手紙を読んで、子供たちを生涯励まし、父親が子供たちをどれほど大切に思っているかを示すことから生まれるものです。それは、夫が妻に宛てたラブレターを読んだときに私たちが経験するものです。そしてそれは、創造主が御自身に栄光をもたらすために創造した被造物に御自身を現すことから私たちが得られる希望であり、喜びであり、知恵です。この御言葉は、私たちがどのようにそれを行い、どのように神に栄光を帰すかを教えてくれます。自然はすでに、私たちが創造主である神に対して責任を負っていることを示してくれていますが、聖書は次の様に示してくれています。**ヨハネの福音書 3章 16節 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**

私たちの手にあるこの聖書が何であるかを本当に理解しているなら、この御言葉に触れれば触れるほど、神を畏れ、神を敬い、神への従順が増していくはずですが、しかし、聖霊が私たちのうちにとどまってくださり、それを私たちの人生に適用してくださるときにのみ、神の御言葉は私たちの希望となり、喜びとなり、知恵となり、人生を歩む道となるのです。ヨハネによる福音書14章26節は、聖霊の照らし出す働きについて語っています。**ヨハネの福音書 4章 26節 しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。**

聖書は、私たちが聖霊を受けるのは、私たちに對する神の愛の啓示、すなわちイエス・キリストのメッセージに応答するときだと教えています。それはヨハネによる福音書3章16節に示されています。イエスは私たちを罪から救ってくださるだけでなく、イエスを信じる者に聖霊を送ってくださるのです。

ローマ人への手紙 8章 9節 しかし、もし神の御霊があなたがたのうちに住んでおられるなら、あなたがたは肉のうちではなく、御霊のうちにいるのです。もし、キリストの御霊を持っていない人がいれば、その人はキリストのものではありません。

ですから、私たちが神の御言葉を聞いて読むとき、神はその輝かしい御言葉を通して、聖霊の力によって私たちに御自身を現されるのです。神の御言葉の重要性を理解し、神が私たちにどのように語られるかを理解することは、この詩篇の終わりにダビデが抱いているのと同じ反応を私たちの心にもたらすはずですが、神の御自身の啓示に対する私たちの応答を見ることができる10-14節を見てください。

10 それらは 金よりも 多くの純金よりも慕わしく 蜜よりも 蜜蜂の巣の滴りよりも甘い。 **11** あなたのしもべも それらにより戒めを受け それを守れば 大きな報いがあります。 **12** だれが自分の過ちを悟ることができるでしょう。どうか 隠れた罪から私を解き放ってください。 **13** あなたのしもべを 傲慢から守ってください。それらが私を支配しないようにしてください。そのとき私は 大きな背きから解き放たれて 全き者となるでしょう。 **14** 私の口のことばと私の心の思いとが 御前に受け入れられますように。主よ わが岩 わが贖い主よ。

神の御言葉に対する私たちの最初の反応は、それを求めることであるべきです。しかし、この神を慕い求める心がどれほど強いものであるかに注目してください。神をより深く知るために神の御言葉を求めることは、多くの人がお金を欲するのと同じように強く求めることなのです。裕福であれ、貧乏であれ、その中間であれ、ほとんどの人にとって、お金に対する欲望は強く、多くの場合、正常で良い欲望です。家族の面倒を見たり、住む場所を確保したりするためにお金を欲しがるのは良いことであり、当然のことです。しかし、これは単なる金銭ではなく、金であり、純金なのです。美しいネックレスとして、あるいは大切な指輪や家宝として身につけたい金なのです。しかし、神の御言葉もまた蜂蜜のようです。味は甘く、私たちの魂を生き生きとさせてくれます。しかし、その甘さは安らぎだけでなく、神の御言葉によるその甘さは、矯正と戒めからもたらされます。

テモテへの手紙第二 3章 16~17節 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。 **17** 神の人がすべての良い働きにふさわしく、十分に整えられた者となるためです。

神の御言葉の働きは、私たちがイエス・キリストにあって完全な者となるように形作ることです。なぜなら、神の御言葉から受ける矯正は、私たちがキリストに近づけるからです。罪は、私たちがキリストのようになるのを妨げるものです。イザヤ書 59章2節 **むしろ、あなたがたの咎が、あなたがたと、あなたがたの神との仕切りとなり、あなたがたの罪が御顔を隠させ、聞いてくださらないようにしたのだ。**

そして、詩篇 66章18節 **もしも不義を 私が心のうちに見出すなら 主は聞き入れてくださらない。**

ですから、もし私たちが本当に心の中で神を讃えようとするなら、キリストの信者であっても残る生活の中の罪の問題に定期的に対処しなければなりません。そしてまた、この詩篇は、罪との戦いにおいて私たちの武器となるのは神の御言葉であるという事実を指し示しています。詩篇19篇の13節はそのことを明らかにします。

13 あなたのしもべを 傲慢から守ってください。 それらが私を支配しないようにしてください。 そのとき私は 大きな背きから解き放たれて 全き者となるでしょう。

罪を根こそぎ取り除くには、神の御言葉を一貫して私たちの生活に適用することです。新約聖書では、聖書は私たちを貫き、取り除くべきものを取り除く剣であると記述しています。これが聖化の業です。聖なるものとする過程です。私たちの魂から罪という癌腫瘍を取り除く外科医のメスと考えることもできます。

ヘブル人への手紙 4章12節 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

最後に、神が被造物の一般啓示と神の御言葉の特別啓示を通して、どのように私たちに御自身を啓示され、その結果、私たちの人生に神の力強い聖化の御業がもたらされるかを理解した上で、ダビデは14節でこう叫びます。 **14 私の口のことばと 私の心の思いとが 御前に受け入れられますように。主よ わが岩 わが贖い主よ。**

力強い神の御言葉を通して、私たちは、神が御自身を私たちに啓示されたおかげで私たちの神をより深くより親密に知ることができます。そして、神を知れば知るほど、私たちが神をどれほど深く必要としているかを理解するようになる。それは、私たちの力の源としてであると同時に、より重要なこととして、キリストを知る前から私たちの中に自然に存在し、イエス・キリストを主であり救い主として受け入れた後も私たちの気を引こうと戦っている罪からの贖い主としてです。キリストが私たちの主であり救い主であり、私たちの贖い主であり、私たちを通して生きていてくださることによってのみ、私たちは神の御言葉が私たちの心を変え、私たちの考えや言葉や行動が贖い主であるイエスを反映するようになるのを見ることができます。このことは、私たちの公同礼拝にとってどのような意味を持つのでしょうか。

神に栄光を帰すため、神だけに栄光を帰すための礼拝が、私たちが集まる理由なのです。そして、詩篇 19 篇からわかるように、私たちの神は、主に神の御言葉である聖書を通して私たちに直接語りかけてくださいます。ですから、私たちは御言葉を読み、御言葉を歌い、御言葉を通して講解説教を系統的に行い、御言葉を通してキリストを知るように人々を教え、弟子訓練を施し、人生の問題に対して御言葉をどのように適用するかについて人々にカウンセリングすることを通して希望を与えるのです。そうすることによって、私たちの口のことばと心の思いが、私たちの岩であり、私たちの贖い主である神の御前に受け入れられ、聖書の民となるのです。祈りましょう。

Psalm 19 Corporate Worship exalts the Word of God

This week is our third week in Psalms exploring what we can see from these songs and poems that relate to our corporate worship, and how we worship when we gather as a church. We have seen already that everything we do in worship should put the focus on bringing glory to God. Of course the more we realize how great our God is and how much we owe to him for our salvation and the many blessings of our life, then we pour out our gratitude to him in generous giving as part of our worship. Today, we want to look at what should be the most prominent element of our worship if we truly want to glorify God. The main thing that I want people to say about our worship here is that the Word of God is front and center throughout our worship service. **If our worship is truly going glorify God then it will exalt the Word of God.** That is exactly what we see when we turn to Psalm 19.

The first line of this Psalm tells us a little about what we are going to read. These introductory statements are actually part of the original language and not later additions, so they are part of scripture. The superscription here for this Psalm reads, **To the choirmaster. A Psalm of David.** So, we know first of all that this would have been sung as a song since it was directed to be used by the choirmaster. And we also know that King David himself wrote this Psalm. These details show us the legitimacy of the historical details surrounding this Psalm and even lead to trusting the historical place of the Bible as God's inerrant Word. But more important to our study today is the focus of this Psalm which is an exaltation of God's revelation of himself to human beings and more specifically, the Word of God we call the Bible. There are three parts to this Psalm that exalt God's revelation of himself to us as His creatures. Let's begin by reading the first 6 verses of Psalm 19 where we see **God's Natural Revelation of Himself.** **19 The heavens declare the glory of God, and the sky above proclaims his handiwork. ²Day to day pours out speech, and night to night reveals knowledge. ³There is no speech, nor are there words, whose voice is not heard. ⁴Their voice goes out through all the earth, and their words to the end of the world. In them he has set a tent for the sun, ⁵ which comes out like a bridegroom leaving his chamber, and, like a strong man, runs its course with joy. ⁶Its rising is from the end of the heavens, and its circuit to the end of them, and there is nothing hidden from its heat.**

This Psalm is all about how God has revealed himself to his creation. The first way that God reveals himself to the entire earth is through the universe itself. Everyone can look at the world around them or the canyons below them or the sky above them and see God revealing himself in the beauty and majesty of his creation. No matter how advanced humans are, can we create something as majestic as the beauty of Mount Fuji or the night sky with millions of points of light from stars we can never reach or the power and beauty of the ocean waters. In beautiful poetry, David has described this universe that God created and told us that although it neither uses speech or spoken words, it still speaks so loud that everyone throughout the world can hear what it says. And what creation reveals is **knowledge** from verse 2. That knowledge is knowledge about God himself, that he exists and that we are accountable to someone who is so much greater than us that he created us and everything around us in this universe. This is why the Holy Spirit through the apostle Paul tells us that by God revealing himself in nature, we are all accountable to him for the sin we have committed against our creator. **Romans 1:19-20 says, For what can be known about God is plain to them, because God has shown it to them.²⁰ For his invisible attributes, namely, his eternal power and divine**

nature, have been clearly perceived, ever since the creation of the world, in the things that have been made. So they are without excuse. If you are here today without having accepted Jesus Christ as your Lord and Savior, creation itself is screaming out to you that there is a God that you are accountable to. There is a God who made you in his own image, but just like creation suffers because of human sin, our sin has messed up the image of God in us, but not destroyed it. [Romans 3:23](#) tells us that [All of us have sinned and fallen short of the glory of God](#). Creation tells us that we are accountable to God for how we live and therefore accountable for our sin. But only a different more specific way of God revealing himself reveals God's plan to save us from that sin.

So, **God has also revealed himself through Special Revelation** as well. Special revelation was seen in two different ways. The prophets in the Old Testament receiving direct messages from God is the first type of special revelation. But those messages were written down and put together in written form and preserved as the written Word of God, the Hebrew Bible, and then the gospels and letters were added after Jesus came and God added the New Testament through those writings. So, the Bible, the written word of God is the second form of special revelation and the only one available to us today. It is those Scriptures, that Special Revelation, that David now exalts with similar beautiful language he used to describe creation. Let's read verses 7-9 of Psalm 19. ⁷ [The law of the Lord is perfect, reviving the soul; the testimony of the Lord is sure, making wise the simple;](#) ⁸ [the precepts of the Lord are right, rejoicing the heart; the commandment of the Lord is pure, enlightening the eyes;](#) ⁹ [the fear of the Lord is clean, enduring forever; the rules of the Lord are true, and righteous altogether.](#) There are 5 and possibly 6 different terms that David applies to the Word of God, [Law of the Lord](#), [testimony of the Lord](#), [precepts of the Lord](#), [commandment of the Lord](#), [rules of the Lord](#) and different but in the same list, the [fear of the Lord](#). Then notice all the words that he uses to describe the Word of God, what we hold as the Bible. It is [perfect](#)...it is [sure](#)... it is [right](#)... it is [pure](#)... it is [clean](#)... it is [true](#) and it is [righteous](#). This is describing the written Word of God revealed directly to humans. Since it was given by God himself, then the written words that result from that revelation of God must reflect the holy, righteous character of God. And that is exactly what these words tell us. It is why in our statement of faith, the Baptist Faith and Message the first statement on the Word of God says, [The Holy Bible was written by men divinely inspired and is God's revelation of Himself to man. It is a perfect treasure of divine instruction. It has God for its author, salvation for its end, and truth, without any mixture of error, for its matter. Therefore, all Scripture is totally true and trustworthy.](#) There are no errors in Scripture. Of course time has brought in some differences between the thousands of copies of the originals, but almost all of those differences can be explained and reconciled. And of course as the original Hebrew, Aramaic and Greek is translated into other languages, there are differences in how each group of translators chooses to translate words and concepts into various languages. But at its very core the Bible is the completely trustworthy revealed Word of God that is without error and completely authoritative in every part of life.

On first reading those words used to describe the Bible, you may get the picture that the Bible then is just a list of rules, do this and don't do this. But we have already established that the Bible, the Word of God is God revealing to us in a direct way who God is. So, there is more to this book than rules. This book revives the soul, gives wisdom when we need it, brings joy to our soul, and opens our eyes to the truth. This is

not at all the description of a list of rules. This is what comes from the subjects of a king reading the proclamation from their great and powerful ruler who can protect their country from the attacks of an enemy. It is what results from reading a letter from a Father to his children to encourage them throughout their lives, and show them how much he cares for them. It is what we experience when we read the love letter of a husband to his wife. And it is the hope, the joy, the wisdom, that we get from a Creator revealing himself to the creatures he created to bring him glory. This Word tells us how we do that, how we bring glory to God. Nature has already shown us that we are accountable to our Creator God, but the Bible shows us that that “...**God so loved the world, that he gave his only Son, that whoever believes in him should not perish but have eternal life.**” (John 3:16). If we really understand what this Bible is that we have, then the fear of God, our honor and respect and obedience to God would increase the more we are in this Word. But the Word of God only becomes our hope, joy, wisdom and path through life when we have the Holy Spirit abiding in us and applying it to our lives. **John 14:26** talks about the illuminating work of the Holy Spirit. **But the Helper, the Holy Spirit, whom the Father will send in my name, he will teach you all things and bring to your remembrance all that I have said to you.** The Bible tells us that we receive the Holy Spirit when we respond to God’s revelation of his love for us, the message of Jesus Christ. That is seen in John 3:16. Jesus not only saves us from sin, but sends the Holy Spirit to those who believe in him. **Romans 8:9** says, **You, however, are not in the flesh but in the Spirit, if in fact the Spirit of God dwells in you. Anyone who does not have the Spirit of Christ does not belong to him.** So, when we open the Word of God to read it, God reveals himself through that glorious word to us by the power of his Holy Spirit. Understanding the significant nature of His Word and how he speaks to us should bring in our hearts the same response David has as this Psalm ends.

Look at verses 10-14 where we see **Our Response to God’s Revelation of himself.**

¹⁰More to be desired are they than gold, even much fine gold; sweeter also than honey and drippings of the honeycomb. ¹¹Moreover, by them is your servant warned; in keeping them there is great reward. ¹²Who can discern his errors? Declare me innocent from hidden faults. ¹³Keep back your servant also from presumptuous sins; let them not have dominion over me! Then I shall be blameless, and innocent of great transgression. ¹⁴Let the words of my mouth and the meditation of my heart be acceptable in your sight, O Lord, my rock and my redeemer. The first response we should have to the word of God is to desire it. But notice this desire, and how strong it is. The desire for the Word of God, so we can know God more, is to be desired in the same way that most people desire money. For most people, whether rich, poor or somewhere in between, the desire for money is strong, and a normal and good desire in many cases. It is good and normal to want money to take care of your family, and to make sure you have a place to live. But this isn’t just money, it’s gold, and it’s fine gold. It’s gold that you want to wear as a beautiful necklace or even a treasured ring or family heirloom. But God’s word is also like honey. It is sweet to the taste and refreshing to our souls. But that sweetness is not just in comfort, that sweetness from God’s Words comes from correction and warning.

2Timothy 3:16-17 says, **16 All Scripture is breathed out by God and profitable for teaching, for reproof, for correction, and for training in righteousness, 17 that the man of God may be complete, equipped for every good work.** The work of God’s Word is to shape us to be complete in Jesus Christ. And this is not something to be avoided but to be looked at as gold and honey because the correction we receive from God’s Word

draws us closer to Christ. Sin is what prevents us from becoming more like Christ. [Isaiah 59:2](#) tells us, [but your iniquities have made a separation between you and your God, and your sins have hidden his face from you so that he does not hear.](#) And [Psalm 66:18](#) says, [If I had cherished iniquity in my heart, the Lord would not have listened.](#) So if we are truly going to glorify God in our hearts then we must regularly deal with the problem of sin in our lives that remains even as a follower of Christ. And again this Psalm points us to the fact that it is God's Word that is our weapon in that war against sin. Verse 13 of Psalm 19 makes that clear...¹³ [Keep back your servant also from presumptuous sins; let them not have dominion over me! Then I shall be blameless, and innocent of great transgression.](#) It is the consistent application of the Word of God to our lives that roots out the sin. The New Testament describes the Bible as a sword that can penetrate us and remove what needs to be removed. This is the work of sanctification. The process of making of holy. You could think of it as a surgeon's scalpel removing the cancerous tumor of sin from our soul. [Hebrews 4:12](#) says, [For the word of God is living and active, sharper than any two-edged sword, piercing to the division of soul and of spirit, of joints and of marrow, and discerning the thoughts and intentions of the heart.](#)

Finally, based on an understanding of how God reveals himself to us through the General revelation of Creation and the Special Revelation of the Word of God that results in God's powerful work of sanctification in our lives, David cries out in verse 14, [Let the words of my mouth and the meditation of my heart be acceptable in your sight, O Lord, my rock and my redeemer.](#) Through the powerful Word of God, we get to know our God intimately as he has revealed himself to us. And the more we get to know him, the more we understand how deeply we need him, both as our strength and more importantly as our redeemer from the sin that is naturally present in us before we know Christ and fights for our attention even after we accept Jesus Christ as our Lord and Savior. Only with Christ as our Lord and Savior, our redeemer, living through us, are we able to see God's word change our hearts so that our thoughts words and actions reflect Jesus, our redeemer. What does all this mean for our corporate worship service? The worship of our God to give glory to him and him alone is the reason we gather. And as we have seen from Psalm 19, our God speaks to us directly and primarily through His Word, the Bible, so the effect of that is that corporate worship that glorifies God must contain and exalt the Word of God itself. So, we read the Word, we sing the Word, we preach expositionally and systematically through the Word, we teach and disciple people to know Christ through the Word, and we offer hope through counseling people on how to apply the Word of God to life's problems. And as we do this, we become a people of the Book whose words of our mouths and meditations of our hearts are acceptable in God's sight, who is our rock and our redeemer. Let's pray.